

第 1 回有識者会議における主な意見

No.	ご意見	資料への反映等	備考
	(全般)		
1	・新長田のまちの状況を現時点まで整理すべき。	資料 3 - P.65~70	・震災後の人口・及び世帯数等の動向を整理
2	・事業制度上の制約・時代背景(事業トレンド)を確認し整理すべき。	資料 3 - P.77~78	・関連文献を整理
3	・震災復興再開発事業他地区比較による新長田のポジショニングの整理をすべき。	資料 3 - P.79~80	・兵庫県内の類似の再開発事例を整理
4	・上位計画(副都心・インナーシティ整備計画)との関連・考え方(「事業当初」、「事業途中」、「現状」)を整理しておく必要がある。	資料 3 - P.21~23 資料 6 - P.8~9	・関係者へのヒアリング等により、当時の経過を整理
5	・ヒアリング対象者は地元を含め幅広にしてほしい。	資料 5	・市職員のほかに各地区まちづくり協議会メンバー等にもヒアリングを実施
	(事業経緯)		
6	・早期事業決定の功罪はまとめておく必要がある。	資料 6 - P.4~5	・検証項目ごとに成果や課題を端的に整理
7	・都市計画・事業計画変更の意図・理由(どういう意思決定がなされ、その理由は)をしっかりと押さえる必要がある。	資料 3 - P.47~50 資料 6 - P.15~19	・関係者へのヒアリング等により、当時の経過を整理
8	・当初計画に対する現状を比較し、出来たこと出来なかったことの整理する必要がある。	資料 6 - P.26~36	・住宅、商業、工業床、都市基盤整備について当初計画と現状を整理
9	・都市計画の柔軟な運用はしっかりと評価すべき。(2段階都計、コンサル活躍、まち協設立、特建活用など)	資料 6 - P.10~11 資料 6 - P.21~22	・関係者へのヒアリング等により、当時の経過を整理
	(商業)		
10	・商業床の当初の計画論の確認をしてほしい。	資料 6 - P.29~31	・関係者へのヒアリング等により、当時の経過を整理
11	・商業床における権利床配置状況を踏まえた計画変更の有無・可否、商業床のフレキシビリティの検討状況について整理する必要がある。	資料 6 - P.32~34	・関係者へのヒアリング等により、当時の経過を整理
12	・3層ネットワークと商業業務床配置は大きく関係しているのではないか。	資料 6 - P.20	・関係者へのヒアリング等により、当時の経過を整理

No.	ご意見	資料への反映等	備考
	(ケミカル関連)		
13	・ケミカル関連の生活再建状況(地区外転出理由)を押さえておくべき。	資料3-P.57 資料6-P.34~35	・関係者へのヒアリング等により、当時の経過を整理
14	・ケミカル復興の政策提案があったのか。	資料3-P.50 資料6-P.35~36	・関係者へのヒアリング等により、当時の経過を整理
	(収支)		
15	・保留床売却見込はあるのか。	資料6-P.52	・市の考え方を整理
16	・当初(都市計画決定)と収支(実績)比較をしておくべき。	資料6-P.50	
	(効果)		
17	・周辺エリアへの波及効果があったのか。	資料6-P.47~48	・地区周辺の地価及び人口の推移を整理
18	・人口増はもっと評価しても良い。	資料3-P.65 資料6-P.40	・震災後の人口・及び世帯数等の動向を整理
19	・未利用地等の改善につながったのではないのか。	資料3-P.19	・震災前の未利用地の状況を整理

以上